



県内2産地が9月に向けて市場展示でPR!

■「尾瀬片品の花」が中央通路を彩る!

8月20日(月)～24日(金)にかけて、大田市場花き棟中央通路にJA利根沼田片品支所の「尾瀬片品の花」が展示され、産地のPRが行われました。JA利根沼田片品支所の尾瀬片品アジサイ生産部会は、全国で唯一アジサイの共選共販を行っている産地です。1本ずつ丁寧に選花選別された高品質のアジサイは市場でも人気を集めています。

今回の市場展示では、ボリュームがあり目を引くグリーンアナベル(規格:L～3L)を中心に、秋色アジサイやワレモコウなどの様々な花が展示され、通路を歩く買参人や市場関係者の注目を集めていました。また、展示ブースではアジサイの出荷期間や規格表、管理方法等を記載したチラシが配布されるなど、品質の高さだけに頼らないPRが行われていました。



尾瀬片品 アジサイの特徴

尾瀬片品アジサイ生産部会がお届けするアジサイは、生花としてもドライフラワーとしてもお楽しみいただけるのが特徴です。グリーンアナベル、秋色ミナヅキ、ユニーク、紫アジサイ・・・それぞれ開花してからの賞味期間から1ヶ月を越(ハウス)で過ごし、アナベルは白から緑色へ、ミナヅキでは白からピンク、紅色へとガクの色が美しく変化したものを出荷しています。

また、共通共販システムにより、生産者から出荷されたものは1本ずつ丁寧に選別選引され出荷されます。

購入後の管理方法

購入後、3～7日間は水につけて管理してください。ガクが乾燥しカサカサと目にするようになれば、水から出して管理してもそのまゝの状態でも半量から1年間は楽しめます。他の花と同様、直射日光の当たる場所やエアコンの風が当たる場所は避けてください。

※がくやいるまで小花の花穂が下に落ちることがありますが、その特性ですのでご了承ください。紫アジサイ、ライムライト(白-グリーン)については、通常の生花と同様の管理が必要です。



展示の様子



様々な規格のグリーンアナベルの展示

配布されたアジサイのチラシ

■中之条町の中村花組合がお彼岸に向けてPR!

「尾瀬片品の花」に引き続き、8月27日(月)～31日(金)にかけて、中之条町で輪ギクや枝物を中心に生産を行っている「中村花組合」が、大田市場花き棟中央通路で展示を行いました。「中村花組合」では、5戸の生産者が「華舞(かぶき)」と「大家族」という名称で出荷を行っています。今回の展示では、キク類にとって大きな需要期である9月のお彼岸に向けて、輪ギクを中心としたPRが行われました。

また、展示最終日となる8月31日(金)には、組合員が早朝から市場に来場して競売前挨拶が行われました。競売前挨拶では、「お彼岸向けの輪ギクは現時点では順調に生育しており、遅れずに出荷できると思われる。出荷のピークは9月17日を見込んでいる。ぜひご利用ください。」と、競売に来ていた買参人に向けて現在の作柄やお彼岸に向けた出荷予定などの説明が行われました。



展示の様子



競売前挨拶の様子